

大腸切除術を受けられる

(ID :)

様

病名	
推定入院期間	日程度
症状	
特別な栄養管理の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

本人または家族の方： (本人との続柄：)

主治医： (印)

説明者：

説明日： 年 月 日
(病棟・病室： 病棟・ 号室)

月日	入院～	手術前日	手術当日	手術直後	術後1日目	術後2日目～3日目	術後4日～7日目	術後8日目～12日目(退院)		
目標	入院、手術に対する不安を軽減し、 最善の状態です手術を受けられるようお手伝いします		手術後の創痛や苦痛を軽減し、重篤な合併症を起さないように援助していきます					食事開始後の合併症の早期発見に努め、 不安なく食事摂取が出来るようお手伝いしていきます		
治療 処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 臍の掃除をします 点滴が2本あります 弾性ストッキングのサイズを測定します 状況に応じ歯科受診があります 眠れないようでしたら早めに看護師にお知らせ下さい 		<ul style="list-style-type: none"> 手術衣に着替えます 左手より点滴を始めます 点滴をしながら手術室に行きます 右手にネームバンドをつけます 弾性ストッキングをはきます 		<ul style="list-style-type: none"> 酸素マスクをつけます 点滴は24時間あります 抗生剤の点滴があります 手術中にお腹に管が入ります ガーゼが汚れた場合は交換します 手術中に背中に痛み止めのチューブが入ります 痛み、吐き気があれば我慢せずお知らせ下さい 		<ul style="list-style-type: none"> 息苦しくなければ酸素マスクをはずします 背中の中の管を抜きます 		<ul style="list-style-type: none"> 状態に合わせ点滴は徐々に減ります お腹の管を抜きます 	
検査					採血します		採血します(3日目)		採血します(7日目)	
排泄	尿を測ります		腸管の内容物を排除する目的で下剤の内服をします。トイレに通う回数が増えますのでご注意ください。		手術中に尿を出す管が入ります		尿の管を抜きます(しばらく尿を測ります)		便の状態により薬が処方されることがあります	
栄養 管理	入院時に、医師・看護師・管理栄養士によって栄養状態を評価し、必要に応じて入院栄養指導を行ないます									
食事	腸内に残らないような食事が出来ます		麻酔医の指示通りにしてください。食事は()時まで、水分は()まで可能です。				主治医の許可により水分が飲めます		食事が始まります(術後3日目～)	
活動	病院内は自由です				ベット上で寝返りは出来ます		ベット上で寝返りや座る練習から始めます		調子を見て歩く練習をします	
清潔	入浴出来ます		朝洗面、歯磨きをします 男性はひげ剃りをします 化粧、マニキュアは落とします 男性はひげ剃りをします				うがい、洗面、歯磨きをします 体を拭いて着替えます 弾性ストッキングをぬぎます		お腹の管が抜け、傷の状態を見てシャワーか入浴ができます	
指導	入院、病棟の説明をします 手術について説明をします 禁煙します		主治医より手術について説明します 麻酔医より麻酔について説明します		深呼吸をして、痰をしっかり出しましょう 主治医よりご家族へ手術結果の説明をします				栄養士による食事指導があります	
備考	手術に必要な物品の確認をします 腹帯 2枚 オムツ 2～3枚 義歯のある方は保管ケースを準備してケースに入れて管理して下さい		貴重品は家族の方に渡しておいて下さい 眼鏡、コンタクトレンズははずします 長髪の方はまとめておきます 家族の方は病室又は9階の待合室でお待ち下さい 手術後一時的に混乱状態となることがあります 危険防止のためはさみ・カミソリ・爪切りなどの鋭利なものはご家族の方がお持ち帰り下さい						診断書の必要な方は提出して下さい 退院当日は、会計の担当者が病室までうかがいますその後退院となります(午前10時頃) ご都合の悪い方は看護師にご相談下さい	



* 病状、経過により計画が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、お尋ね下さい。